

ZORRO ルーフカウル スカイウェイブ (cj44) 用 取扱説明書

取り扱いについてのお願い

■ワイパーの使用について

ゾロのスクリーンにはシリコン系ハードコートを施しており、ハードコートをしていないポリカーボネートに比べワイパーの使用による傷がつきにくくなっております。しかしながら、スクリーン表面が水に塗れていない状態でのワイパーの使用や、少雨時での必要以上のワイパーの使用はスクリーン表面のコーティング層を傷つける恐れがあります。スクリーンを長くご使用いただくために、ワイパーのスイッチはこまめに切り替えていただくことをお勧めします。

■スクリーンのお手入れについて

スクリーンの表面を洗浄することで撥水性が保てます。スクリーン、ワイパーブレードの砂埃、汚れは中性洗剤を使用して濡らしたタオル等で拭いてください。また、研磨剤の使用はコーティングが剥がれ本来の性能が損なわれるためお止めください。

■タイヤ空気圧について

タイヤ空気圧はルーフの振動に敏感に大きく影響します。操縦性に悪影響のない範囲でやや低めの設定をお勧めします。

■メンテナンス時のルーフ取り外し要領

整備などでルーフを外す場合はスクリーン下側4本、ルーフ上面の4本のウェルナットを外すことで右画像のようにフロントカウル、スクリーン、ワイパー、ルーフを一体で簡単に外すことができます。

(ワイパーコードのカプラーを忘れずに抜く)



■ウェルナットに関して

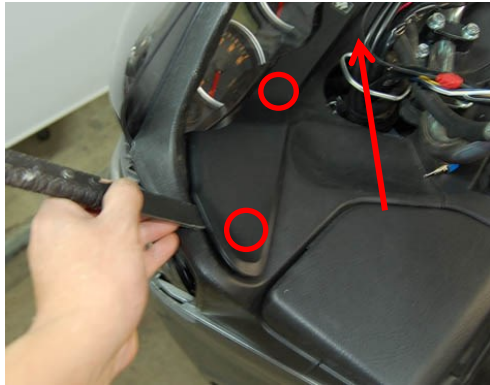
ルーフカウルの取付に使用するウェルナットは、一度使用すると膨れて変形しますが、熱湯に漬けることである程度回復し、再利用できることがあります。また変形が残ったものでも、ビードワックスや洗剤などを少量付けることで差し込み易くなりますが、ある程度時間経過した場合、再利用できないことを考えて、脱着の際は事前に新しいウェルナットをご用意ください。(一つ¥100で販売)

取 付 説 明

必要工具

ドリル (10mmのキリがつかめるもの)、10mmキリ (一般鉄鋼用)、
内貼りはがしまたはプラスチックヘラ、6角レンチ
一般整備工具 (ボックスレンチ、スパナ、ドライバー等)

ノーマルフロントスクリーンを外す



1. メーター手前のカバーをはずす。○の位置に左右4か所爪があるので中央の隙間に手を入れるか、端をヘラでこじって取る。



2. 左右のネジを取って



3. スクリーン下のカバーを引っ張り外す。



4. ネジを取ってスクリーンを持って広げるように

ワイパー電源を用意する。



1. 矢印のビスを取りハンドルカバーを外す。

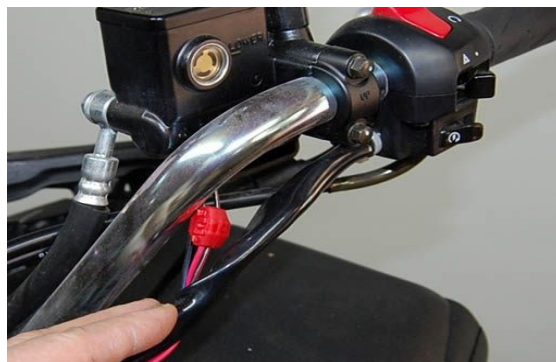


2. ヘラを使って後ろ側カバーを先に取り外す。

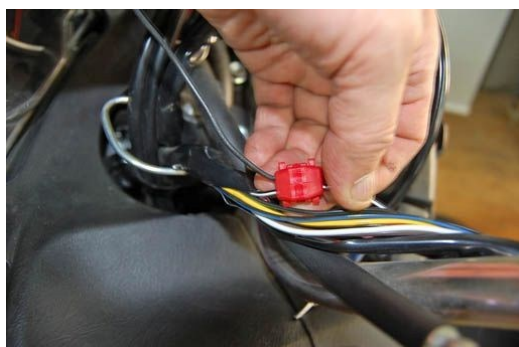
左右1本ずつ。



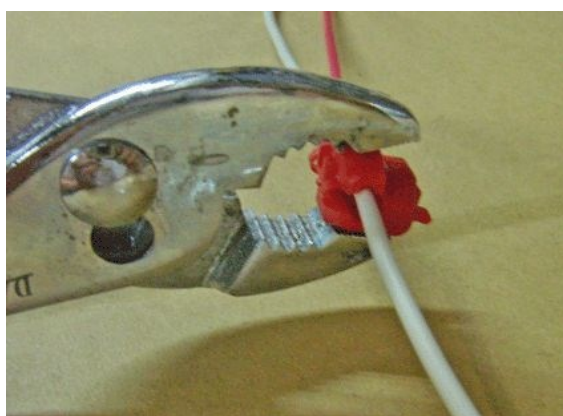
3. 前カバーは左右端を後ろに引いてハンドルから離してから上へ引っ張って取る。



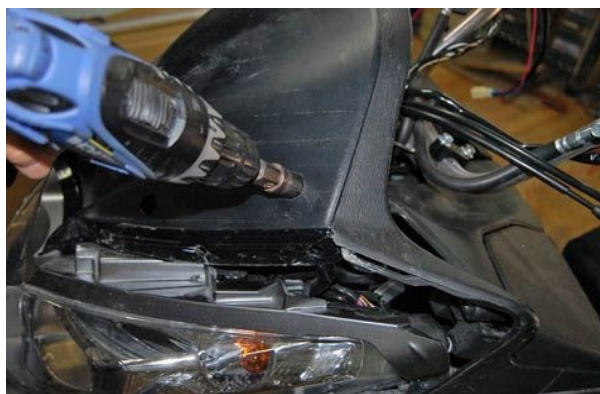
4. ワイパースイッチ側赤コードを左側ブレーキスイッチから出ている黒／緑コード（+電源）と接続。



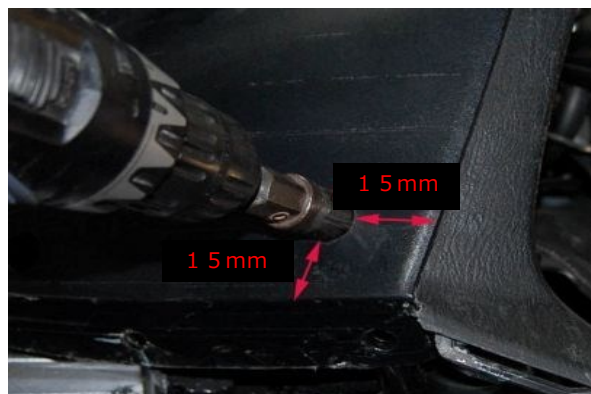
5. 配線コードを包んでいるハンドル左の黒いビニールのカバーをカッターで切り裂く。（中のコードを傷つけないよう注意）中の黒／白コードとワイパースイッチ黒コードを接続。（車体アースでも可）



6. 接続は赤色のワンタッチカプラーでコードを挟みプライヤーなどで締めるだけ。被覆は剥かない。



7. 電源コードを通す穴をあける。
（シートから見て左側）

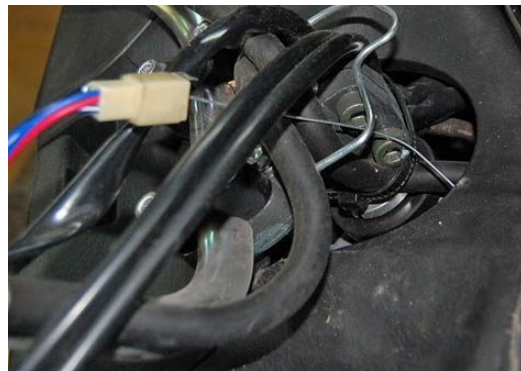


8. 20mmホールソーで、押しすぎて刃で内側を傷つけないよう注意して行う。



9. ホールソーがない場合は付属の10mmキリで4ヶ開けて中をニッパなどで取り除く。

普通のキリは貫通時に食い込みが生じ失敗する危険性が高くなります。付属のキリは食い込みがないよう加工してありますので、10mmキリを使う場合は必ず付属の物を使ってください。



10. カプラー（クリーム色の）をハンドルポストの中央穴から通して先にあけた穴から出す。針金をカプラーにテープで固定し針金を適度に曲げてリードする。



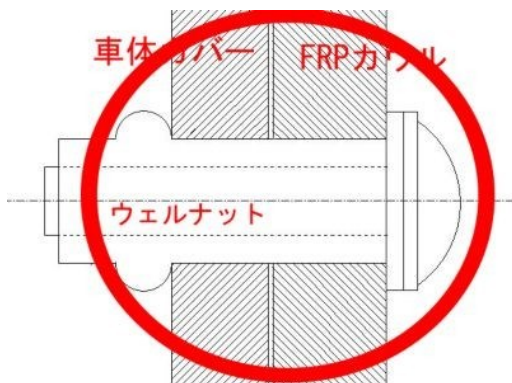
フロントカウルを取り付ける。



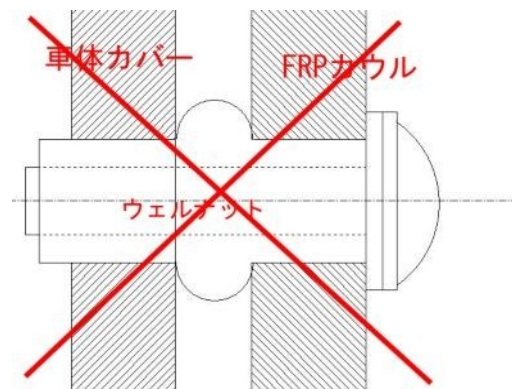
1. フロントブラケットを被せてカプラーを出して落ちないようにとめておく。



2. ウェルナットを使って6ヶ所固定。



3. 奥でナットが膨れることで締め固定できます。



4. ビスの締め始めに隙間があると隙間でナットが膨れてしまい固定できない。ドライバーに抵抗を感じるようになるまでは隙間ができないようカウルを押さえ付けながら絞める。



5. ウェルナットを差し込む時は図の様にナットをつばとビスの頭が当たった状態でドライバーを使って回さずに押し込む。



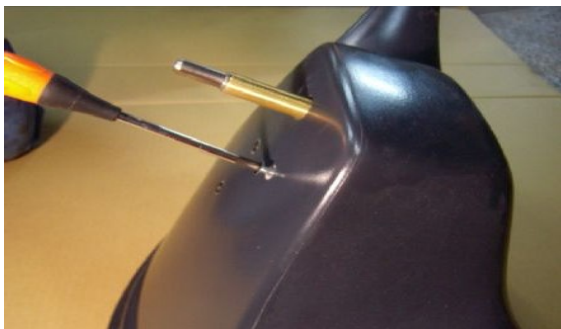
6. 図の状態で押し込むと、つばまで穴の中に入ってしまう、絞めることができなくなる。



7. カバーを戻しておく



8. フロントブラケットへ通したカプラーと、モーターをつないで動作を確認する（矢印位置が回転）この時ワイパースイッチをオフにし、シャフトが停止してからキーをオフにする。



9. カプラーに繋いだモーターを取り外しフロントカウルに取り付ける。ナット側はある程度動くので、ずれているときは細いドライバーなどで調整する。

10. カプラーをつないでから、カプラーをブラケット穴へ入れ込むようにしながらフロントカウルをバイク本体に被せる。カプラーがフロントカウルとブラケットの間に挟まっていないことを確認する。



11. スクリーンを被せ、下の2か所の穴をウェルナットを使用してスクリーン、フロントカウル、フロントブラケットを共締めする。

パイプブラケットを付ける。



1. ネジ4本をはずす。



2. カバーを外す。



3. スペーサー穴の上へ置いて落ちないようにテープ等で軽く留める。



4. パイプブラケットを被せて4本ねじ留め。

パイプ支柱、ルーフを取り付ける。

ルーフとスクリーンを繋ぐ。

全てウェルナットを使用して取り付ける。



レインモールを取り付ける。

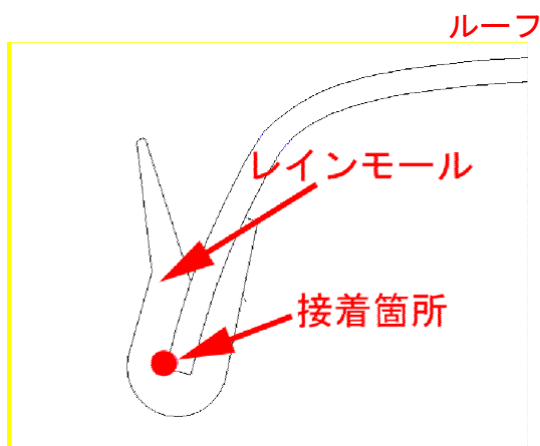


1. 矢印のところからスクリーンをめくるようにしてレインモールをはめ込んでいく。



2. モールをめくって奥(下)へ極微量を1.5cm間隔でごく微量点付。モールが波打たないように、すぐに下から押さえる。

3. レインモールが付け終わったら、スクリーンの残りの穴にウェルナットを差し込み締める。
(スクリーン、フロントカウルとブラケットの穴が合わない場合はフロントカウルを持ち上げるようにして位置合わせする。)



3. アームにブレードを付ける。割りピンをビスのピン穴に差し込み広げる。

4. ワイパーモーターを定位置停止の状態にする。メインスイッチを回してからモータースイッチを ON、作動確認してモータースイッチ OFF その後メインスイッチ OFF。

《これでワイパーモーターは定位置停止(アクセルグリップ側)で停止した事になる》モーターシャフトに目印のテープを張ると目視確認しやすい。定位置停止でない状態で、アームを固定し作動させると、作動範囲外で動くためスクリーン、カウルを傷つけてしまうので要注意。



5. ブレードがスクリーンの端 (アクセルグリップ側) より 4c m ぐらいで固定。



6. 一旦シャフトにしっかりとまり込むまで緩めてから締める。このボルトが緩むとアームがずれた位置で動き、スクリーンやカウルを傷つけることになるので、しっかりめに締める。

重なりは下からカウル、スクリーン、小判ゴム板、アームベース、厚ゴムワッシャー、ステンワッシャー、ナット、ゴムキャップシール、アーム大端部となる。



7. 左側ミラー根本にスイッチボックスを固定する。

以上で終了です。